第112回(令和4年12月28日) 新型コロナウイルス感染症対策 アドバイザリーボード

資料3-4

西田先生提出資料

都内主要繁華街における滞留人口モニタリング

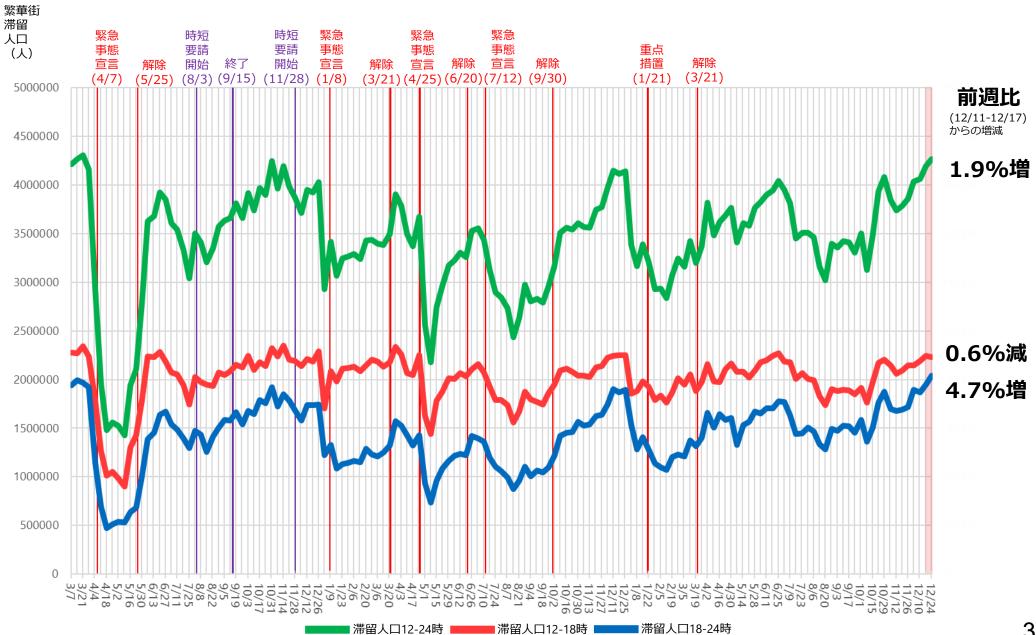
東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター

東京都内・主要繁華街 滞留人口モニタリング (12月25日までのデータ分析:要点)

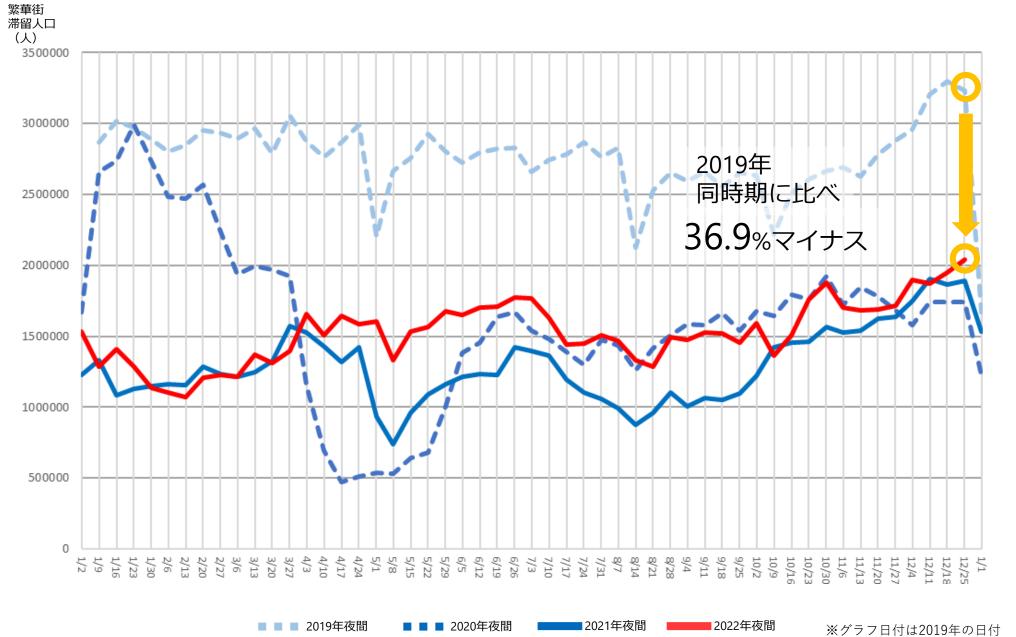
【直近の繁華街滞留人口の状況】

- 夜間滞留人口(18-24時): 忘年会シーズンのピークをむかえ、直近1週間で さらに増加(前週比:4.7%増)。新型コロナ流行後、最も高い水準にまで到 達。
- 昼間滞留人口:前週からほぼ横ばいで推移(前週比:0.6%減)。
- 夜間滞留人口・世代別占有率:引き続き、中高年層の占める割合が最も高い。
- <u>繁華街別夜間滞留人口</u>:上野・銀座・歌舞伎町・池袋で増加。特に、銀座は コロナ前の水準近くまで急増。六本木で横ばい。渋谷・新宿二丁目で減少。

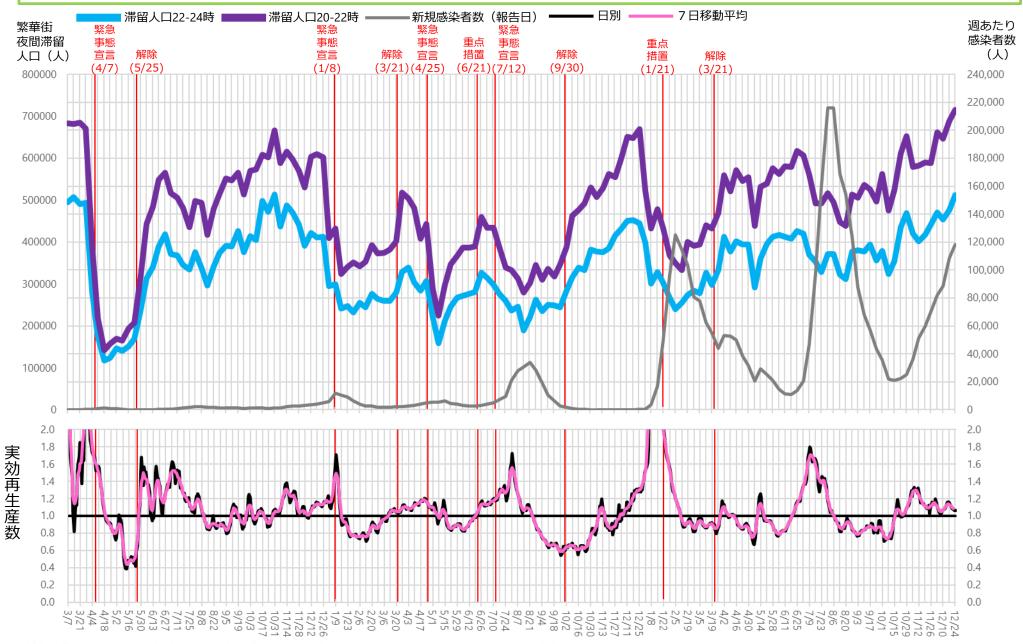
時間帯別主要繁華街滞留人口の推移:東京(2020年3月7日~2022年12月24日)



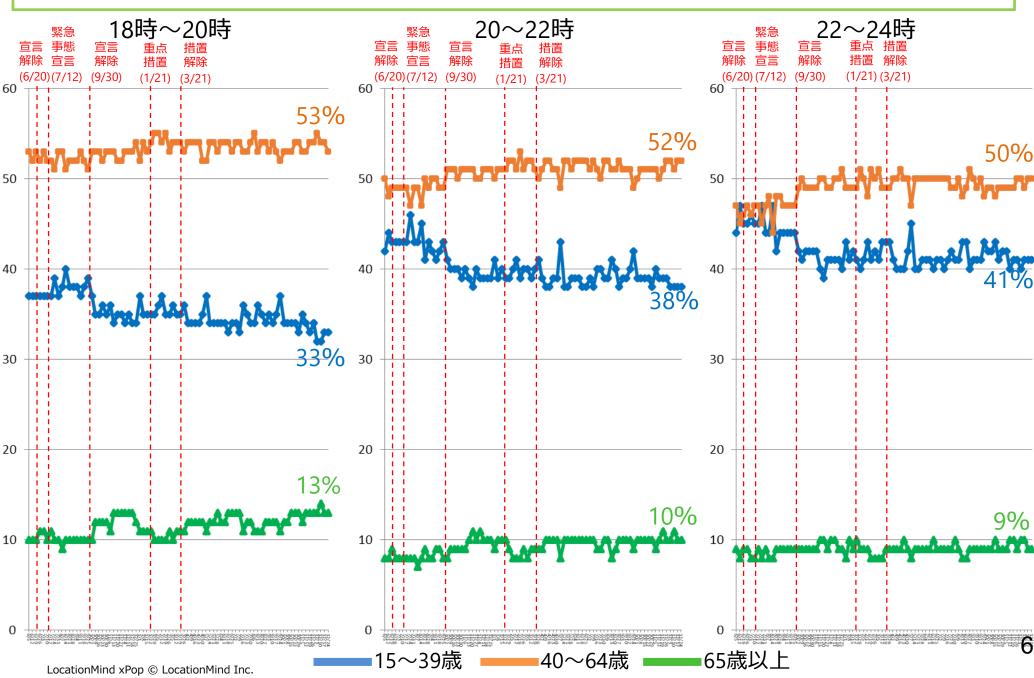
繁華街夜間滞留人口(18-24時)東京:2019年以降の推移(2019年1月6日~2022年12月24日)



主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京(2020年3月1日~2022年12月24日)

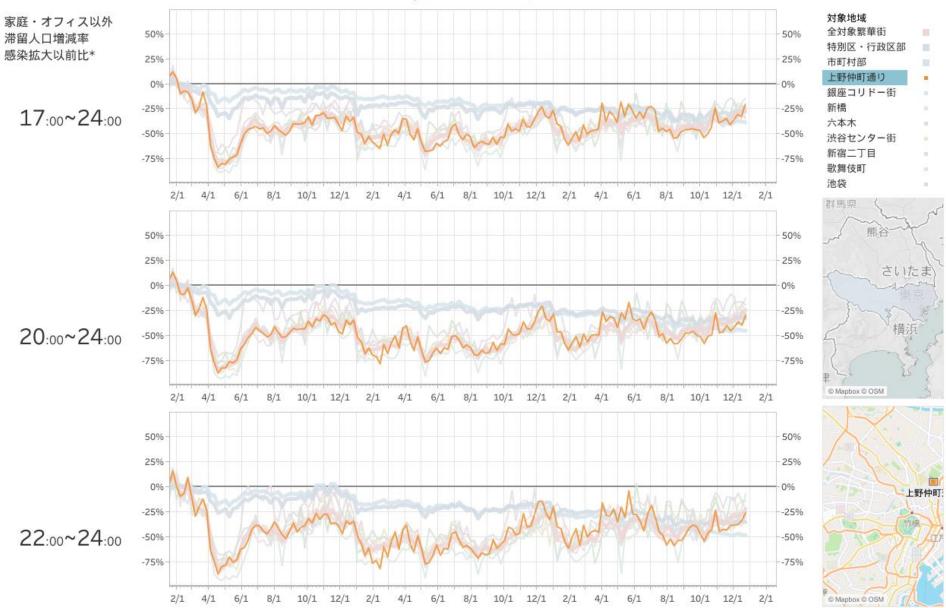


都内主要繁華街における夜間滞留人口の年代別占有率(2021年6月1日~2022年12月24日)



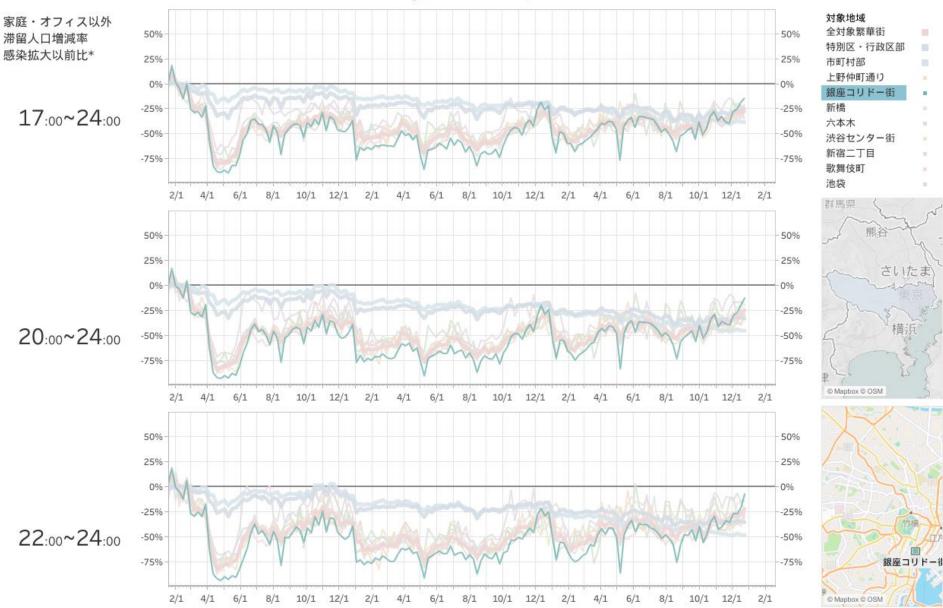
上野仲町通り





銀座コリドー街





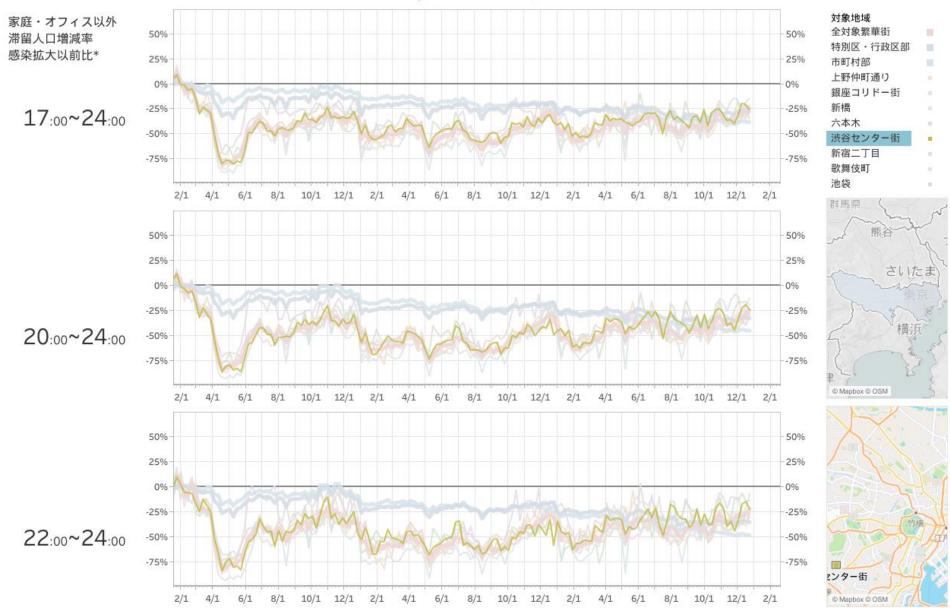
六本木





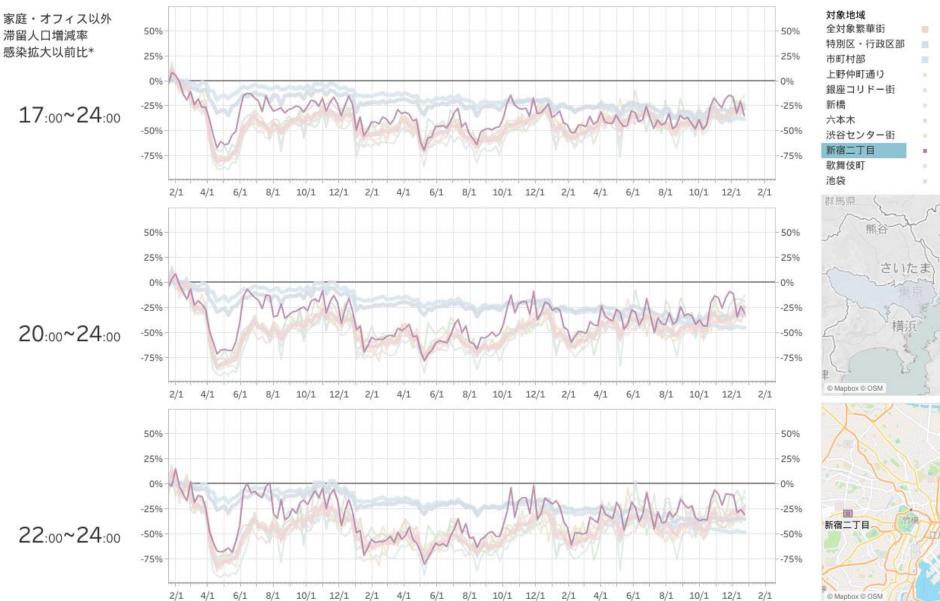
渋谷センター街





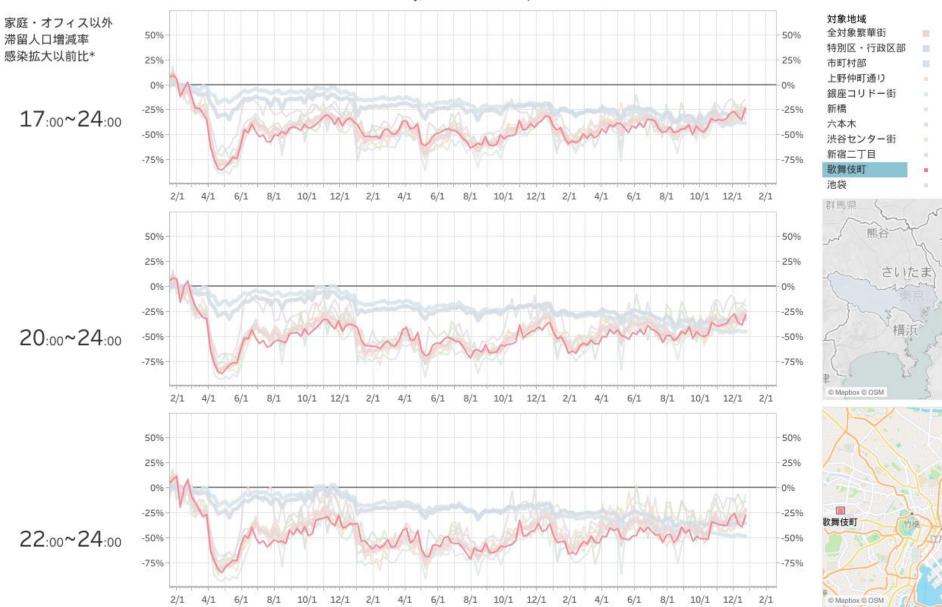
新宿二丁目





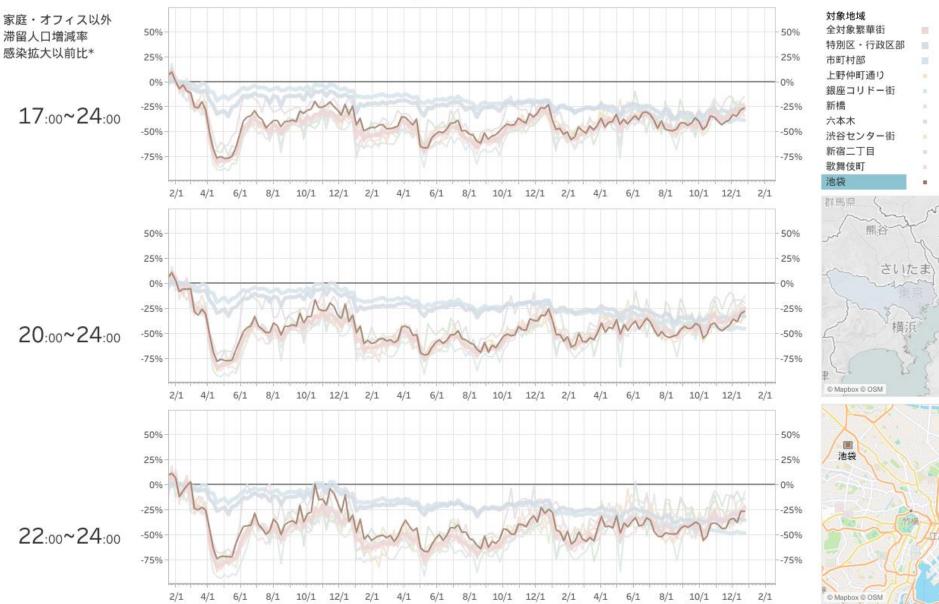
歌舞伎町





池袋

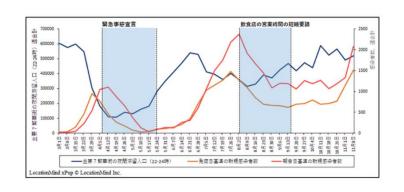




ハイリスクな滞留人口と感染状況との関連

- GPSの移動パターンから主要繁華街(ハイリスクな場所)にレジャー目的(ハイリスクな目的)で滞留したデータを抽出※
- ・ 夜間帯(ハイリスクな時間帯)の滞留人口量を1時間単位で推定
- 繁華街夜間滞留人口データとその後の

新規感染者数、実効再生産数との関連が確認されている※※





※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。